

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○わかる授業づくりと体力の向上, 家庭・地域と一体となった共育を推進する学校</p> <p>○礼儀正しく, よく学び, 社会に役立つたくましい児童・生徒</p> <p>○小中連携校の強みをいかし, 基本的生活習慣の確立と心の教育に真摯に取り組む教員</p>		<p>確かな学力の向上を目指した基礎基本の定着</p> <p>挨拶に重点を置いた基本的生活習慣の確立</p> <p>特別支援教育の充実</p>	<p>・特に算数, 数学において小テストや単元テストを確実に実施し, 結果を分析して学力の定着を図る。</p> <p>・家庭学習の習慣を身につけさせるための取組を保護者と一体となって推進する。</p> <p>・教師目らが率先して挨拶を行い, 活気ある学校づくりに努める。</p> <p>・「住吉スタンダード」の振り返りを定期的に行い, 重点的に指導すべき項目を全職員で確認して指導にあたる。</p> <p>・小中で共通する課題について, 小中連携係を中心に協議を進め, 合同研修会で共通理解を図る。</p> <p>・研究主任および特別支援教育コーディネーターを中心にB事業に向けての取組を進める。</p> <p>・校内支援委員会を学期ごとに開催し, 支援を要する児童生徒についての情報を共有するとともに, よりよい支援の方策を検討する。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>基本的生活習慣の確立を図る。</p>	<p>・「住吉スタンダード」の児童生徒による振り返りを学期に1回行い, 結果を分析して, 研修会で協議する。</p> <p>・「住吉スタンダード」の教師による振り返りを学期に1回行い, 次の学期の重点目標を話し合う。</p> <p>・「住吉スタンダード」の児童生徒による振り返りに関して, 全ての項目で肯定的回答が半数を超える。</p> <p>・重点目標についての指導に取り組んだ結果, 次の学期で肯定的回答が前回の数字を上回る。</p>	<p>・児童については, 生活実態調査を2回実施したが, 生徒による振り返りをさせることができなかった。教師による振り返りは小学校では毎月, 中学校では学期ごとに行うことができた。</p> <p>・毎月の生徒指導全体会の中で, 基本的生活習慣に関する振り返りを行い, 現状を認識するとともに, 次の月の重点目標を確認することができた。</p> <p>・「そうじ」「自学」「言葉」については, 肯定的回答が80%以上で指導の成果が上がっているが, 「あいさつ」については60%から70%にとどまっている。</p>	
<p>確かな学力の向上を目指し, わかる授業づくりの実践に取り組む。</p>	<p>・小中すべての授業で, 毎時間「めあて」と「まとめ」を明確にする。</p> <p>・生徒による授業アンケートを2学期中に実施し, 結果を分析して授業改善の手立てを検討する。</p> <p>・「住吉っ子ノート」「SSノート」を活用して, 自学に取り組む児童生徒の割合が70%を超える。</p> <p>・福岡市学習定着度調査の全教科において, 前年度の成績を上回る。</p>	<p>・小学校はテーマ研修で, 中学校では見せ合う授業の中で, 「めあて」と「まとめ」を明確にする授業づくりを確認できた。</p> <p>・授業アンケートは実施できたが, 分析したところとどまっているため, 次年度に向けた授業改善の手立ての検討を早急に行いたい。</p> <p>・「住吉っ子ノート」「SSノート」については, 保護者への啓発も含めて概ね目標を達成できた。</p> <p>・小学校の社会と中学校の数学においては前年を上回ったものの他教科は目標を達成できなかったもので, 結果を分析し次年度につなげたい。</p>	
<p>心の教育の充実を図る。</p>	<p>・教育相談週間の充実を図り, 学期に1回計画的に実施する。</p> <p>・ユニバーサル教育に関する研修を全職員で行い, 講師を招聘した研修会を実施する。</p> <p>・児童生徒アンケートにおいて, 時と場に応じた言葉遣いをきちんとできる割合が80%を超える。</p> <p>・保護者アンケートにおいて, 学校の心の教育への取組に対する肯定的回答が70%を超える。</p>	<p>・小学校では月1回, 中学校では学期に1回のペースで教育相談を計画することができた。</p> <p>・ユニバーサルデザインに関しての研修を教育センターと連携して行うことができた。</p> <p>・言葉遣いでは, 2学期の振り返りに関して88%の達成率となった。</p> <p>・心の教育への取組について, 保護者アンケートでは肯定的回答が90%を越えており, 一定の評価が得られている。</p>	
<p>学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)</p>			
<p>・来年度のB事業への取組に期待している。特別支援教育をさらに推進してほしい。</p> <p>・タブレットを使った実証授業を今後の指導にも生かしてほしい。その中で, 従来型の紙ベースでの学習との棲み分けを研究してもらいたい。</p> <p>・夏季休業中に行っている公民館での学習会を今後も継続してほしい。</p> <p>・小2, 小3のCRTテストの落ち込みが気になる。「学年×10分+10分」の家庭学習の時間を確保するよう取組を強化してほしい。</p> <p>・不登校生徒の減少への取組を推進してほしい。</p> <p>・中学校の体育大会を旧住吉中学校で行っている現状を考える必要がある。他県で狭い運動場を使って行っている学校を参考にしてほしい。</p>			